令和4年11月4日

令和4年度 第2回SDGsセミナー

京都で進むSDGs活動の見える化
～きょうとSDGsネットワーク～

京都市総合企画局総合政策室
SDGs・レジリエントシティ推進課長
齋藤　久也

「見える化」が進む背景には

⇒　企業におけるSDGsの推進が進められる中、
内閣府が進める地方創生と深い関係がある。

地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成に向けて

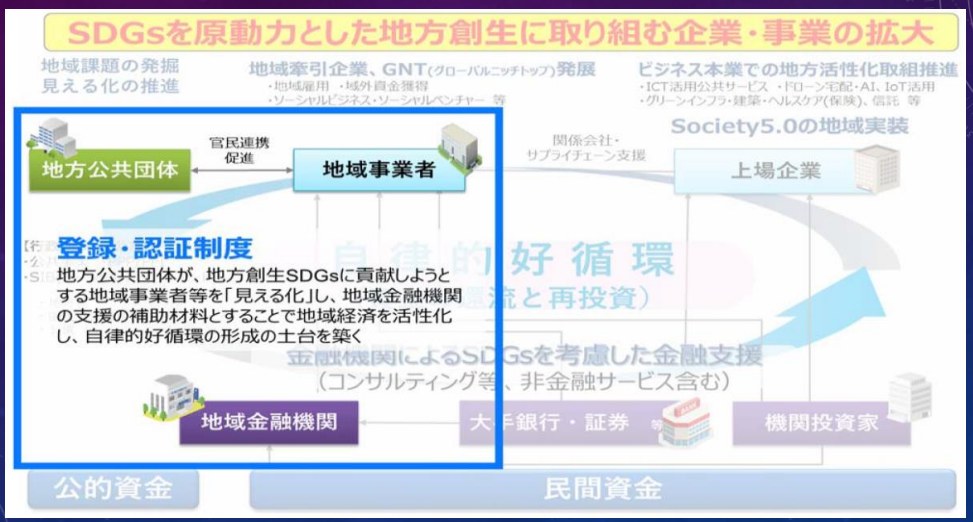
地方創生SDGsの推進においては、地域課題等の解決に向けた取組によって得られた収益を地域に再投資する「地方創生SDGs金融を通じた自律的好循環の形成」が重要である。地方公共団体は自らが中心となり、地方創生SDGsに積極的に取り組む地域事業者等の「見える化」を行い、地域金融機関や様々なステークホルダーと連携して地域事業者等の取組を支援することで、更なる取組の推進及び地域の自律的好循環の形成の加速化につなげることができる。また、登録・認証等制度の構築を機に、これから地方創生SDGsに取り組む地域事業者等の裾野の拡大が図られ、地域課題等の解決に向けた取組の促進が期待される。

（参考：地方公共団体のための地方創生SDGS登録・認証等制度ガイドライン2020 年度【第一版】）

（参考：地方公共団体のための地方創生SDGS登録・認証等制度ガイドライン2020 年度【第一版】）

「地方創生SDGs登録・認証等制度」の意義

「地方創生SDGs登録・認証等制度」は様々なステークホルダーが関わることで、地域への資金の還流と再投資による自律的好循環の形成につながることが期待されている。



(参考:地方公共団体のための地方創生SDGS登録・認証等制度ガイドライン2020 年度【第一版】)

全国的に進む「見える化」の取組

⇒ 全国統一の制度ではなく、各地域の事情に応じた制度が自治体等で作られてきている。

⇒ 金融機関等でも企業のSDGs推進を支援するためのコンサルティングや「見える化」を行うサービスが次々と出てきている。

京都では

⇒　すでに社会課題の解決、地域の持続的な発展に貢献する事業者等を表彰する制度が運用されてきている。

⇒　金融機関等で企業のSDGs推進を支援するための取組提案やPR支援を行うサービスが次々と出てきている。

令和4年3月28日発足、4月1日～運用開始

きょうとSDGsネットワーク内の各種制度

行政や金融機関をはじめ、公と民が連携することで、SDGsの推進に向けた普及啓発やセミナー等の情報を共有し、各事業者等の状況に合わせて、ネットワーク内の各種制度への参加を促していきます。

京銀SDGs宣言サポート

お客様との対話を通じてSDGs の取組状況を整理し、今後の取り組みを提案するとともに、オリジナル宣言書の策定支援や当行プレスリリースによる PR 支援を行う制度

（実施主体：京都銀行）

京都SDGsパートナー制度

市内拠点の有無や規模を問わず、企業や NPO 法人といった各種団体等も幅広く対象とし、SDGs、CO_2ゼロに取り組む意思を宣言・実践する事業者等を公表する制度

（実施主体：京都超 SDGs コンソーシアム）

京都中信SDGs宣言サポート

SDGs の取組状況と課題について診断ツールを用いて見える化し、診断レポートに基づいた取組提案や宣言書の策定に向けたサポートを行う制度

（実施主体：京都中央信用金庫）

京都市 輝く地域企業表彰

地域と共に継承・発展する「地域企業」として、安心安全や文化の継承への貢献など、地域に根差して企業活動に取り組まれている事業者を表彰する制度

（実施主体：京都市）

ソーシャル企業認証制度 S認証

社会課題の解決、SDGs の達成に向けた取組や ESG 経営を実践している企業に対し、京都信用金庫等がサポートを行い経営方針や事業内容、社会的インパクトなどを整理し、第三者委員会が評価・認証を行う制度

（実施主体：ソーシャル企業認証機構 等）

これからの1000年を紡ぐ企業認定

社会的課題の解決など、持続可能な社会の構築に貢献する企業を認定し、これらの企業の成長と発展を支援する制度

（実施主体：京都高度技術研究所）

「きょうとSDGsネットワーク」は、行政・金融機関・関係団体でSDGsを強力に推進するための新たなネットワークです。京都でSDGsの推進や社会課題の解決、地域の持続的な発展に貢献する事業者等を推奨するための制度を体系化し、相互に連携することにより、公と民が一体となって社会経済の好循環を生み出します。

取組内容

1. SDGsの普及啓発
2. セミナー、シンポジウム、交流会、研究会など多様な事業者等が連携する場の創出
3. SDGsの推進に向けた定期的な対話、協議及び情報交換
4. SDGsの推進に取り組む事業者等へのメリットの付与

参画団体

(株)三菱UFJ銀行 / (株)京都銀行 / 京都信用金庫 / 京都中央信用金庫 / 京都信用保証協会 / (一社)ソーシャル企業認証機構 / 龍谷大学ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター / (公財)京都高度技術研究所 / 京都超SDGsコンソーシアム / 京都市

また、本ネットワークの運営に協力していただける企業，団体等を「サポーター」として活動していただいています。（現在、7事業者）

京都では各種制度独自のサービス以外に、制度をまたいだ共通のメリットを提供

メリット	SDGsパートナー	輝く地域企業表彰	京銀宣言サポート	S認証	中信宣言サポート	1000年企業認定
事業者名や取組内容をホームページにおいて公表	●	●	●	●	●	●
「きょうとSDGsネットワーク」ロゴマークの使用	●	●	●	●	●	●
SDGsを学べるセミナー，シンポジウム，交流会，研究会など，多様な団体が連携する場の提供	●	●	●	●	●	●
京都市の一定以上の金額の契約*における「持続可能な社会を構築する取組」に係る文書提出の免除	●	●	●	●	●	●
京都市の指定管理者選定において加点対象となる場合あり	●	●	●	●	●	●
金融機関や事業主体などによるコンサルティングや助言等のサポート			●	●	●	●
京都市のプロポーザル等において加点対象となる場合あり						●
京都市中小企業融資制度「SDGs推進サポート資金」での金利・保証料優遇						●

＊予定価格4億円以上の工事請負，8千万円以上の物品等調達

詳しくは、HPをご覧ください。

・きょうとSDGsネットワーク
https://www.city.kyoto.lg.jp/sogo/page/0000295638.html

【お問合せ先】

京都市　総合企画局　総合政策室　SDGs・レジリエントシティ推進担当
（藤川・松岡・齋藤）

Tel：075－222－3379　E-mail：sdgs@city.kyoto.lg.jp